

ロシア・東欧学会

The Japanese Association for Russian and East European Studies

Newsletter No. 11

ロシア・東欧学会 2005 年度大会 (2005 年 10 月 15/16 日, 西南学院大学) プログラム決まる

2005 年 10 月 15/16 日, 福岡の西南学院大学で開催されるロシア・東欧学会 2005 年度 (第 34 回) 大会のプログラムが, 以下のように決まりました.

ロシア・東欧学会 2005 年度大会プログラム

10 月 15 日 (土曜日)

開会宣言 10:30-10:35 (2 号館 407 教室)

共通論題 (セッション 1)

10:35-11:45 (2 号館 II-407 教室)

「スラヴ・ユーラシアの新しいアイデンティティー」第 1 部「ロシア」

座長 藤本和貴夫 (大阪経済法科大学)

報告者 下斗米伸夫 (法政大学)

討論者 横手 慎二 (慶應義塾大学)

共通論題 (セッション 2)

11:45-12:55 (2 号館 II-407 教室)

「スラヴ・ユーラシアの新しいアイデンティティー」第 2 部「CIS」

座長 松井 弘明 (大東文化大学)

報告 湯浅 剛 (防衛研究所)

討論者 中野 潤三 (鈴鹿国際大学)

昼休み 12:55-14:25

理事会 12:55-14:25 (2 号館 7 階中会議室)

共通論題 (セッション 3)

14:25-15:35 (2 号館 II-407 教室)

「スラヴ・ユーラシアの新しいアイデンティティー」第 3 部「文学」

座長 桑野 隆 (早稲田大学)

報告者 安岡治子 (東京大学))

討論者 中村 裕 (秋田大学)

共通論題 (セッション 4)

15:35-16:45 (2 号館 II-407 教室)

「スラヴ・ユーラシアの新しいアイデンティティー」第 4 部「中・東欧」

座長 柴 宣弘 (東京大学)

報告 阿部 望 (明治学院大学)

討論者 矢田部順二 (広島修道大学)

総会 16:45-17:45

懇親会 18:00-20:00

10 月 16 日 (日曜日)

自由論題 (セッション 5)

09:00-13:00 (2 号館 II-403 教室)

座長 宇多文雄 (上智大学)

報告 5-1 09:00-09:40

報告者 大木昭男 (桜美林大学)

「ラズプーチン文学に現れた母子像」

討論者 廣岡正久 (京都産業大学)

報告 5-2 09:40-10:20

報告者 宮川真一 (創価大学非常勤講師)

「現代ロシアの公教育における宗教教育 - 『正教文化の基礎』コース導入をめぐる - 」

討論者 廣岡正久 (京都産業大学)

報告 5-3 10:20-11:00

報告者 加藤美保子 (北海道大学大学院生)

「ソ連 / ロシアの安全保障観とアジア太平洋 - ロシアを含む地域安全保障へ - 」

討論者 三井光夫 (世界政経調査会)

報告 5-4 11:00-11:40

報告者 大串敦 (グラスゴー大学大学院生)

「ソ連共産党の改革はなぜ失敗したのか - 第 28 回共産党大会を中心として - 」

討論者 上野俊彦 (上智大学)

報告 5-5 11:40-12:20

報告者 津田憂子 (早稲田大学大学院生)

「大統領制と議院内閣制の選択 - 1990 ~ 1996 年の

ロシア - 1

- 討論者 上野俊彦（上智大学）
 報告 5-6 12:20-13:00
 報告者 溝口修平（東京大学大学院生）
 「ソ連崩壊後のロシアにおける憲法体制の失敗」
 討論者 上野俊彦（上智大学）
 自由論題（セッション6）
 09:00-13:00（2号館 II-404 教室）
 座長 小森田秋夫（東京大学）
 報告 6-1 09:00-09:40
 報告者 ヘンリク・ドゥーダ（東京外国語大学）
 「How many Slavic languages do we have in Poland?」
 討論者 沼野充義（東京大学）
 報告 6-2 09:40-10:20
 報告者 河野健一（県立長崎シーボルト大学）
 「EU 拡大の理念と現実 - 最前線での検証 - 」
 討論者 羽場久子（法政大学）
 報告 6-3 10:20-11:00
 報告者 中村健史（慶應義塾大学院生）
 「コソボ紛争後における欧州の地域機構間協調」
 討論者 羽場久子（法政大学）
 報告 6-4 11:00-11:40
 報告者 磯村尚弘（名古屋大学大学院生）
 「第二次世界大戦後クロアチアにおける政府とローマ・カトリック教会の関係の変遷」
 討論者 家本博一（名古屋学院大学）
 報告 6-5 11:40-12:20
 報告者 市川顕（慶應義塾大学大学院生）
 「体制移行期ポーランドの環境改善における環境基金の役割に関する考察」
 討論者 家本博一（名古屋学院大学）
 報告 6-6 12:20-13:00
 報告者 加藤久子（一橋大学大学院生）
 「戦後ポーランドにおけるコンビナート建設と都市形成 - カトリック教会と労働者 - 」
 討論者 家本博一（名古屋学院大学）
 自由論題（セッション7）
 09:00-12:20（2号館 II-302 教室）
 座長 宮本勝浩（大阪府立大学）
 報告 7-1 9:00-9:40
 報告者 富山栄子（新潟大学非常勤講師）
 「日本の経営管理のロシアへの移転」

- 討論者 上垣彰（西南学院大学）
 報告 7-2 09:40-10:20
 報告者 田畑朋子（北海道大学）
 「ロシアの地域別人口変動の要因分析(1989～2002年)」
 討論者 上垣彰（西南学院大学）
 報告 7-3 10:20-11:00
 報告者 中西健（日本大学大学院生）
 「キルギス特別大統領選後のキルギス事情 - 統治機構改革を中心に - 」
 討論者 清水学（一橋大学）
 報告 7-4 11:00-11:40
 報告者 光吉淑江（明治大学非常勤講師）
 「歴史から見たウクライナ女性の神話と現実」
 討論者 五十嵐徳子（天理大学）
 報告 7-5 11:40-12:20
 報告者 吉田裕季（立正大学大学院）
 「ウクライナ侵攻(1918～1919年)とルーマニア・ハンガリー関係」
 討論者 羽場久子（法政大学）
 昼休み 13:00-14:00
 特別パネルディスカッション
 14:00-17:00（2号館 II-407 教室）
 代表理事挨拶 14:00-14:05
 座長 伊東 孝之（早稲田大学）
 「新時代におけるロシアのアイデンティティと日口関係」 14:05-14:40
 講演（20分） 駐日ロシア大使
 要約（5分）
 討論（10分） 松里 公孝（北海道大学）
 「新時代におけるカザフスタンのアイデンティティと日本・カザフスタン関係」
 14:45-15:20
 講演（20分） 駐日カザフスタン大使
 要約（5分）
 討論（10分） 宇山 智彦（北海道大学）
 「新時代におけるハンガリーのアイデンティティと日本・ハンガリー関係」 15:25-16:00
 講演（20分） 駐日ハンガリー大使
 要約（5分）
 討論（10分） 羽場久子（法政大学）
 パネルディスカッション 16:00-17:00

2005 年度第 1 回理事会開催

2005 年 6 月 12 日（日）、法政大学市ヶ谷キャンパスで 2005 年度第 1 回理事会が開催されました。袴田茂樹代表理事の挨拶のあと、理事会では以下の報告および審議が行われました。なお、理事会出席者は 28 名、欠席 12 名でした。

1. 報告事項

(1) 2005 年度（第 34 回）大会の開催責任者の上垣彰理事（西南学院大学）の挨拶がありました。

(2) 皆川修吾企画委員長より、共通論題「スラヴ・ユーラシアの新しいアイデンティティ」の座長・報告者・討論者の陣容についての報告がありました。

(3) 香川敏幸会誌編集委員長より、年報『ロシア・東欧研究』第 33 号（2004 年版）に関して、編集進捗状況、目次案、投稿論文審査結果などについて報告がありました。また、第 34 号（2005 年版）については前倒しで準備をすることが決まっており、そのため投稿等希望申込受付の締め切りを 2005 年 9 月 15 日、原稿提出の締め切りを 2005 年 11 月 30 日とし、発行予定を 2006 年 3 月 31 日とすることが報告されました。

(4) 羽場事務局長より、会費納入状況について報告があり、とくに、2004 年度に 140 名ほどの新入会員があり、収入増につながっているが、新入会員の会費納入状況は必ずしもよくないこと、2004 年度の会費納入率は全体で 85%であったこと、2005 年度 4～5 月で会員の 48%が会費を納入したことなどの報告がありました〔表 1〕。

2. 審議事項

(1) 2005 年度大会自由論題について、19 名の報告希望者があるが、3 会場で各 4 時間という制約から、18 名（報告・討論・質疑を含めて各セッション 40 分）が限度のため、昨年の大会で報告した 1 名については遠慮してもらうことを決定し、残りの 18 名について、会場ごとのグループ分け、並びに座長および討論者の

候補を決定しました。プログラムの詳細の決定、ならびに座長および討論者の依頼は企画委員会に委任することに決定しました。

(2) 事務局より、2003 年度決算および 2004 年度予算案について説明がおこなわれ、審議の結果、決算については会計監査に、また予算案については総会への提出が承認されました。2004 決算については、とくに、院生を含めて 140 名ほど新入会員があり、その結果、会費収入が予算より約 90 万円の増加となったこと、支出は昨年並みに引き締め気味としているため、100 万円程度の繰越金増となることが報告されました。2005 年度予算については、会員 420 人体制を支える財政的基盤を確立しなければならないこと、とくに年報印刷代、事務局嘱託事務職員給与、通信・印刷経費などの増額が必要であること、予備費を研究大会などに活用することなどについて審議が行われました〔表 2〕。

(3) 外国人研究者とのネットワークづくりについて、その推進策が検討されましたが、資格として、会友あるいは通信会員などとする可能性、会員資格についての規約改正の要不要などについて審議されましたが、結論に至らず継続審議となりました。

(4) 内村剛介『生き急ぐ』のロシア語翻訳出版の件について、代表理事より、現状では国内での翻訳出版は難しいため、ロシア側との連携を模索しつつ、長期的に取り組むことになりました。

(5) 18 名の入会希望者の審査が行われ、全員承認されました〔表 3〕。退会者・物故者（計 10 名）について報告がなされました。物故者は、松下輝雄会員、退会者は、井本友文、門脇延行、木村晃三、工藤潤一郎、三村洋史、森本忠夫、吉田一康、吉田征司の方々です（敬称略）。

(6) 2006 年度大会は、関東周辺の大学で開催することを検討することとしました。

(7) 「ロシア・東欧学会」の名称〔5 頁下部に続く〕

表 1 2005 年 3 月末の時点での会員数と会費納入状況

	正会員	院生会員	法人会員	名誉会員	合計
会員数（名）	287	52	6	8	353
会費納入者数（名）	243	41	3	-	287
会費未納者数（名）	44	11	3	-	58
会費納入率（%）	85%	79%	50%	-	平均 81%

表2 2004年度決算および2005年度予算(案)[2005年3月31日現在]

	2004年度予算	2004年度決算	2005年度予算案
収入の部			
前年度繰越金	1,297,050	1,297,050	2,034,709
会費(注1)	1,930,000	2,844,000	2,800,000
個人	1,830,000	2,564,000	2,650,000
正会員	1,680,000	2,321,000	2,450,000
院生会員	150,000	243,000	200,000
団体	100,000	280,000	150,000
維持会費	24,000	93,000	24,000
寄付	250,000	248,000	200,000
利息	30	11	30
雑収入	20,000	28,130	10,000
収入小計	2,224,030	3,213,141	3,034,030
総計	3,521,080	4,510,191	5,068,739
支出の部			
大会費	300,000	269,800	300,000
年報発行費	1,000,000	1,003,167	1,300,000
年報印刷費	1,000,000	998,753	1,000,000
ニューズレター印刷費		42,735	100,000
2005年(34号)年報予備費			200,000
年報発行編集費		38,321	
事業費(注2)	25,000	40,000	40,000
学会会議費用	40,000	10,000	40,000
事務局費(事務, 謝礼)	100,000	249,065	300,000
事務用品・コピー代	61,000	77,938	80,000
会議費補助	600,000	623,174	620,000
選挙管理費	0	0	0
会員名簿印刷代	40,000	41,790	50,000
通信・発送費	110,000	141,277	160,000
利息・手数料料金(注3)	30,000	19,271	40,000
予備費(注4)	200,000	0	200,000
支出小計	2,506,000	2,475,482	3,130,000
繰越金	1,015,080	2,034,709	1,938,739
総計	3,521,080	4,510,191	5,068,739

会員が100数十人近く増え、400人を超えたことに伴い、雑誌・ニューズレターの印刷、通信・発送、事務作業費などに、必要な費用を付加した。

(注1) 2005年度予算の会費収入の算出は、2004年度の納入状況より、会員総数400名のうち、正会員(350名)70%、院生会員(45名)70%、法人会員60%、寄付は昨年並みとして試算。ただし会費納入率が80%を超えない場合は、文部科学省や科研の補助が受けられないので、会費徴収率を上げる必要がある。

(注2) 事業費は、JCREESおよび地域研究学会連絡協議会の負担金。

(注3) 「利息・手数料」は、事務局費に含まれる銀行手数料を郵便振替払込料金と合わせたもの。

(注4) 予備費は、大会開催や、施設使用量が必要な場合の支出。

表3 2005年度第1回理事会で承認された新入会員

	氏名	所属	専攻	推薦者	
1	青木國彦	東北大学大学院	比較経済体制論	袴田茂樹	岩田昌征
2	一ノ渡忠之	明治大学大学院生	国際貿易論, ロシア経済論	服部倫卓	袴田茂樹
3	唐津祐子	法政大学大学院生	ソ連における社会主義スポーツ	羽場久シ尾子	袴田茂樹
4	桑野 隆	早稲田大学	ロシア文化	沼野充義	羽場久シ尾子
5	高尾 潤	NHK	ロシア・ソビエト研究	袴田茂樹	羽場久シ尾子
6	津田憂子	早稲田大学大学院生	旧ソ連・ロシア政治, 比較政治学	伊藤孝之	下斗米伸夫
7	中西 健	日本大学大学院生	国際法・国際政治経済・ロシア東欧地域研究	乾一宇	湯浅剛
8	橋田 力	まちづくり国際交流センター	欧州統合論・EU 対外関係	袴田茂樹	羽場久シ尾子
9	長谷直哉	慶應義塾大学大学院生	ロシア政治・比較政治学	横手慎二	井手康仁
10	藤川鉄馬	住友信託銀行	旧社会主義国・途上国の経済発展, EU 経済	袴田茂樹	西村可明
11	藤崎好子	高知大学	言語学・外国語教育	五十嵐徳子	宮本勝浩
12	芳地隆之	ロシア東欧貿易会	プレヒト演劇論, 東欧現代史	袴田茂樹	服部倫卓
13	安岡治子	東京大学大学院	ロシア文学	沼野充義	羽場久シ尾子
14	矢田部順二	広島修道大学	チェコスロヴァキア対外関係史	上垣彰	林忠行
15	米岡大輔	大阪市立大学大学院生	ハプスブルク帝国とボスニア・ヘルツェゴヴィナ	羽場久シ尾子	馬場優
16	安達祐子	ロンドン大学大学院生	ロシア地域研究	宇多文雄	上野俊彦
17	ツェーリシェフ, イヴァーン・セルゲーエヴィチ	新潟経済大学	東アジア経済	袴田茂樹	藤本和貴夫
18	イヴァーノフ, ウラジーミル・イヴァーノヴィチ	ERINA	東北アジアのエネルギー安保, 政治経済学	袴田茂樹	藤本和貴夫

について、「ロシア」がロシア以外の旧ソ連諸国、とくに中央アジアをカバーしている現状に合致していないこと、また「東欧」という地域名称が、ハンガリー、ポーランド、バルカン半島諸国などをカバーしている現状に必ずしも適切ではないことなどの問題が提起され、学会名称の変更を検討することになりました。

(8) 会員 420 人体制を維持するため、各種委員会、

たとえば国際交流委員会などの設置を検討することになりました。

『ロシア・東欧学会年報「ロシア・東欧研究」』原稿募集

論文、研究ノート、書評、資料紹介の原稿を募集しています。2005年度の応募締切は9月15日、原稿締

切は11月30日です。そのほか詳しいことはロシア・東欧学会ホームページの会則・諸規程のページないしは年報巻末の「投稿規程・執筆要領」をごらん下さい。

投稿申込先・原稿送付先

ロシア・東欧学会誌編集委員会
〒252-8520 神奈川県藤沢市遠藤 5322
慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス内
総合政策学部・香川敏幸研究室気付
505 研究室直通 Tel & Fax: 0466-49-3491;
E-mail: kgw@sfc.keio.ac.jp;
URL: <http://www.sfc.keio.ac.jp/~kgw/>

年会費，維持会費の納入と ご寄付のお願い

2005 年度年会費をまだお支払いいただけていない方につきましては、会費の納入をお願いいたします。また 2004 年度までの年会費未払いの方も、恐縮ですが、2004 年度までの会費を合わせてお支払い下さい。なお、年会費は、2004 年度総会決定により、2005 年度より、一般会員 10,000 円となりましたのでお間違えのないようお願いいたします。院生会員は据え置きで 5,000 円です。なお、同時に法人会員の会費も 50,000 円に値上げされましたのでよろしくをお願いいたします。寄付は金額にかかわらずお受けしております。

1 年以上未納の方には 雑誌が送られなくなります。3 年未納が続きますと、ご連絡の上、会員から除籍されますのでくれぐれもご注意下さい。お忙しいとは存じますが、振込みをどうぞよろしくお願いいたします。

会費についてご不明の点がありましたら、事務局までお問い合わせ下さい。

ロシア・東欧学会事務局

〒102-8160 東京都千代田区富士見町 2-17-2
法政大学市ヶ谷校舎ポアソナード・タワー16 階
羽場久シ尾子研究室気付
E-mail: russia-ee@side.pobox.ne.jp
URL: <http://www.soc.nii.ac.jp/roto/index.html>
Newsletter および HP 作成担当：上野俊彦
E-mail: uenot@mc.newweb.ne.jp